

八千把小学校だより 「おおきな希望」

第7号 令和2年11月2日(月)

《文責：校長》

11月は読書月間です。目標は、1か月で10,000冊です。

11月の読書月間に向けて、図書委員のみんなが「1か月10,000冊」という目標を設定して、読書の楽しさを伝えてくれます。10,000冊は、一人で考えると約13冊です。目標達成に向けて頑張りましょう。

図書委員のみんなは、この目標達成のために、

- 読書クイズの実施
- 給食時間の読み聞かせ
- おすすめの本の紹介

を企画しています。きっと、本を読むことの楽しさが八千把小学校全体に広がってくれると思います。

保護者の皆さんによる読み聞かせが行われています。お話をしてくれるお母さん方に、子供たちの目と耳は釘付けです。



なかなかスタートできなかったPTAの皆さんによる読み聞かせがスタートし、多くの子供たちに本の楽しさを伝えてくれています。

コロナ感染症対策としてマスクし、その上子供たちからの距離をとって

の読み聞かせとなり、保護者の皆さんに大変なご苦勞をおかけしました。しかし、その読み聞かせは、子供たちの語彙力、集中力、創造する力を高めることにつながるといわれています。PTAの皆さんの努力は、必ず子供たちの力となって現れてくると思います。家庭でも子供たちが30分でも集中して読書できる環境をつくっていただくと習慣化につながると思います。



がんば廊下の机が、優しい色のきれいな机に生まれ変わりました。感謝の気持ちを持って、大切に使いましょう！

がんば廊下においてある机が、表面がはげたり、汚れがたくさん付いたりしていました。それに気づき、澤永先生、有馬先生、北岡先生、宮本先生が、心を込めて表面の剥がれかけた塗装を剥がし、再塗装をしてくれました。廊下に並んだ「パステルグリーン」と「パステルピンク」のとても優しい色の机は、きっと、ここで勉強する子どもたちに、優しい気持ちとやる気を生み出してくれると思います。

自分の仕事が忙しい中、子供たちのために一生懸命頑張っていたいただいた4名の先生方に心から感謝しています。

子供たちもきっと大切に使うと思います。

